

滋賀県消費生活ゲーム 遊び方（基本編）

『次の夏休みに、山か海に遊びに行く』という設定のもと、山または海に持っていきたいと思うものを、買い物するすごろくゲームです。買い物をするためのお金も、ゲームの中で貯めていきます。

目的に応じた物の選択や、予算内で買い物することなどについて遊びながら学ぶゲームです。

ゲームの流れ

- 自分が遊びに行くなら、山か海のどちらに行きたいかを1人ずつ決めます。
- サイコロをふって、マスを進みます。止まったマスに指示が書かれている場合は、その指示に従います。
- 「やることカード」のマスに止まったら「やることカード」を引き、「買いものカード」のマスに止まったら、「買いものカード」を引きます。
- 「やることカード」には、やることの指示が書かれています。
指示どおりのことができたなら、カードに書かれているだけの「お金カード」をもらいます。
- 「買いものカード」に書かれているものを、山（または海）に持っていきたいかを考え、買うか、買わないかを決めます。
買う場合は、カードに書かれた値段分の「お金カード」を払って「買いものカード」を手に入れます。
- 「買いものカード」には、「たべもの」「もちもの」「みにつけるもの」の3種類があります。3種類とも手に入れてゴールします。

すごろくゲームをはじめる前に・・・（準備）

1. それぞれのカードを、置き場に置きます。

「やることカード」「買いものカード」「お金カード」「メダルカード」を、それぞれの置き場に重ねて置きます。

「やることカード」と「買いものカード」は、何が書かれてあるか見えないように、裏向きに置いてください。

「お金カード」「メダルカード」は表向き（絵がある方を上）に置く

「やることカード」「買いものカード」は裏向き（絵・文章がある方を下）に置く
→カードは必ずよく切ってから置いてください！

2. 山か海のどちらに行く設定とするかを決めて、「行き先カード」を手元に置きます。

山か海、どちらに遊びに行きたいかを1人ずつ決めます。どちらを選んだかわかるように、「行き先カード」を1人1枚ずつ手元に置いて、すごろくスタートです。（選んだ方の絵を上に向けて置きます。）

行き先カード

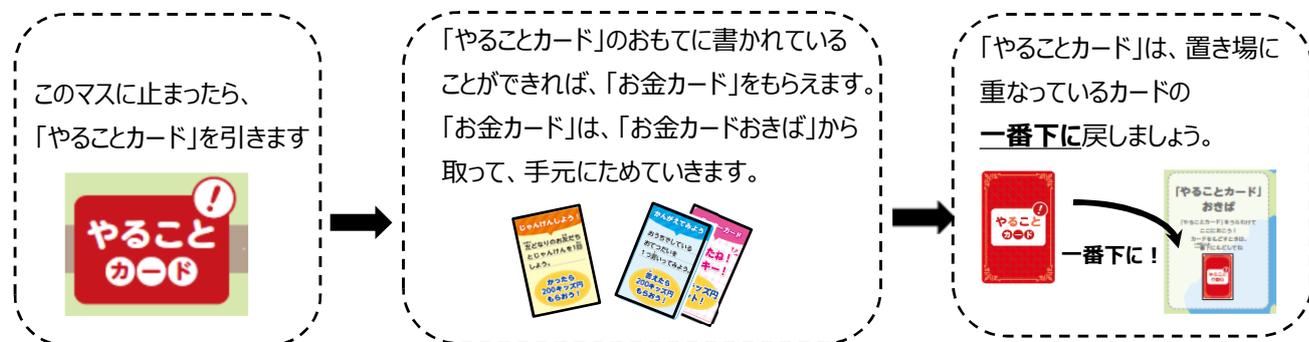


山か海、どちらに行く設定にするかを決めたら、決めた方を上にして、「行き先カード」をそれぞれ手元に置きます。

遊び方（基本編）

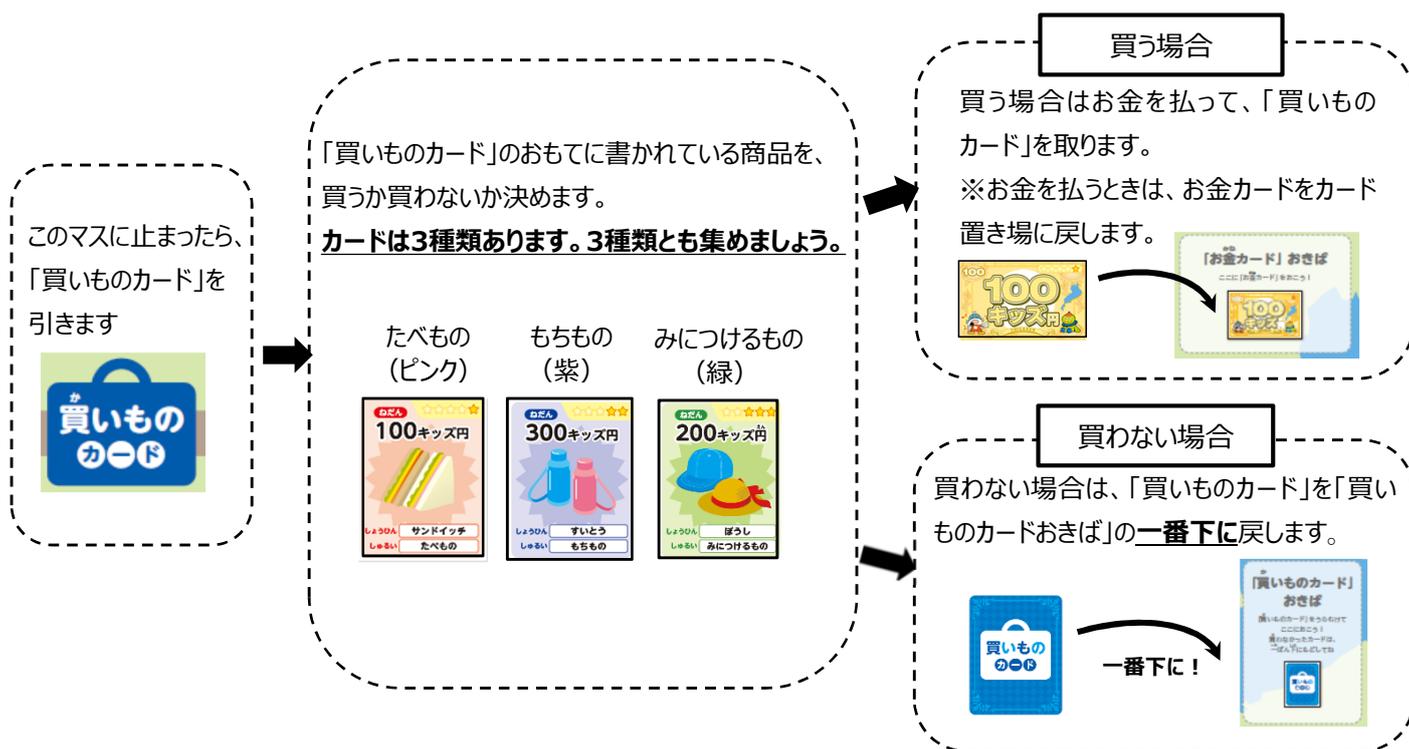
1. サイコロの出た目の数だけ進みます。「やることカード」のマスに止まったら「やることカード」を引きます。

- 「やることカード」に書かれていることをして、お金カードをためましょう。「お金カード」は、置き場から取って手元に置きます。
※“〇つすすむ”の指示に従って進んだ先が「やることカード」のマスの場合も、「やることカード」を引きます。
- 引いた「やることカード」は、「やることカードおきば」の一番下に戻します。



2. 「買いものカード」のマスに止まったら「買いものカード」を引きます。

- 「買いものカード」を引いて、そのカードに書かれている商品を買うか、買わないかを決めます。
山または海に持っていきたいかどうか、買えるお金があるか等を考えて、買うか買わないかを決めてください。
※“〇つすすむ”の指示に従って進んだ先が「買いものカード」のマスの場合も、「買いものカード」を引きます。
- 買う場合は、その値段のお金を払います。（「お金カード」を「お金カードおきば」に戻します。）
- 買わない場合は、「買いものカード」を、「買いものカードおきば」の一番下に戻します。
- 「買いものカード」には、「たべもの」「もちもの」「みにつけるもの」の3種類があります。
（ピンク色・紫色・緑色と、種類ごとに色分けしてあります。）
- 必ず、全ての種類のカードを集めてゴールを目指します。4枚以上の商品を買ってもOKです。



〈3種類の「買いものカード」がそろわない場合は・・・〉

ゴール手前で、買い物をまだ続けるか、終わりにするか分岐点となるマスがあります。
 3種類そろっていない場合は、まだ買い物を続ける方に進みます。
 (買いものカードは、全種類そろえることを基本ルールとしていますが、全種類そろわなくてもゴールして、例えば、集めたカードの数で競うという方法でもOKです。)



3. ゴールした順に、メダルカードをもらって、すぐろくゲームは終わりです。

サイコロの数がゴールのマスちょうどに止まらなくても、ゴールまで行けば終わってOKです。
 1番にゴールした人は「金メダルカード」、2番は「ぎんメダルカード」、3番は「どうメダルカード」、4番は「がんばったメダルカード」を、それぞれもらいましょう。



※このすぐろくは、5人以上で遊ぶこともできますが、メダルカードは4枚しかありません。

4. 勝ち負けについて

勝ち負けは次の2パターンがありますので、遊ぶ時間や年齢等に応じて、ルールを決めて遊んでください。

- ①早くゴールした人が勝ち
 - ②手に入れたカードに書かれた☆の合計数の多い人が勝ち
- さらに、「ゴールシート」を使って、自分の☆の合計数があてはまるマスに、自分のコマを置いて遊ぶこともできます。

例 以下のカードが集まったとすれば、☆の数は12個となります。
 (買いものカード：5個、メダルカード：5個、お金カード：2個)



☆の数が12個の場合、ゴールシートの「まあまあだね！」のマスに当てはまりますので、そこにコマを置いてみましょう！
 獲得した☆の多さの目安になります。「やったね！」のマスを目指してね！